



5月は赤十字運動月間です

～赤十字活動資金をお寄せいただく
会員の募集を行っています～

☎日本赤十字社滋賀県支部 ☎(522)6758

日本赤十字社は、大規模な自然災害などに見舞われた被災地などで、被災者支援のため、継続的な支援やボランティアの育成、救急法をはじめとした各種講習、献血推進、地域医療の提供など、さまざまな事業活動を実施しています。

会員を募集しています

事業を継続していくためには、より多くの人の理解と協力を得る必要があります。

趣旨にご賛同のうえ、一人でも多くの皆さまに会員になっていただけますようご協力をお願いします。詳しくは、上記へお問い合わせください。

【会員募集期間】

5月1日(土)～31日(月)

感染症対応の活動

新型コロナウイルス感染症発生初期から、医療チームの派遣や赤十字病院での対応など、懸命の救援活動をしています。



©Atsushi Shibuya/JRCS

被災地支援の活動

熊本県・球磨川の氾濫の被災地に、400人以上を派遣して支援活動を展開しました。感染症対策に有効なマスクなど、感染予防に有効な衛生用品を配布しました。



はなしのりね



*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。
小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

きれいなまちが気持ちいいね

うちたに こうた
内容 恒太さん親子ら春休みに美化活動
立入が丘小の友達約20人でごみ拾い

春休みのごみ拾いを市長に報告



手紙や絵で「きれいなまち」のメッセージ



この春、立入が丘小学校2年生に進級した内容 恒太さんは、1年生の下校時に「このまちの人が捨てたごみだから、このまちの人が拾わな」と度々ごみを拾って帰っていました。春休みの間、お母さんの加世子さんと毎日ごみを拾おうと決めた時、せっかくならと友達やママ友に声を掛けたところ、1年生から4年生まで約20人の親子と一緒に活動してくれました。

校区内の野洲川や街角で活動していましたが、4月6日は市役所に遠征。周辺でごみを拾って市長に報告し、「町をきれいにしてくれてありがとう」とお礼の言葉をもらいました。子どもたちが描いた手紙や絵のメッセージを手渡すこともできました。

内容さんは「活動していると出掛けた先でも気になってごみを拾うようになりました。小さな活動でしたが、続いたり広がったりすれば、町もきれいになっていくと思います」と話していました。